



防振ゴム付き基礎パッキン プラゴム パッキン

優れた防振ゴムで耐震性能の維持と不快な振動の軽減

良い家創りの基本は『優れた基礎部材』からです！



高性能のゴム素材を建材に活用 防振と圧縮歪み性能に優れて、耐久性のあるゴムを採用！

従来の樹脂と石粉混合の基礎パッキンに対して、「高機能防振ゴム」を素材とした建物の「居住性や耐久性を向上」させる防振ゴムを付加しています。複合型の基礎パッキンです！

防振ゴム付き基礎パッキン
スタンダードタイプ
プラゴムパッキン



大きな衝撃で圧縮されても潰れきってしまうことなく、30HZ~80HZ程度の生活振動に効果を発揮するように、防振理論に基づいてゴムの設計をしていて、優れた防振性能で地盤からの振動を減衰し、住宅を基礎から守ります。

建物は長期に渡り地震・強風・交通振動などの外力(=水平力)を受けることにより、構造躯体の各所に歪みが生じてきます。

特に変形圧力は建物下部に集中するので、その力を軽減することが建物の耐久性を維持する上で重要なポイントとなります。

また、大きな衝撃に対してはゴムがいったん潰れることにより直接躯体へ伝わるのをクッション効果で軽減します。



シャルピー衝撃試験実施：樹脂パッキンの2倍の衝撃吸収性能
圧縮破壊試験実施：従来の1.5倍の50t

基礎パッキンの目的・機能

1. 土台の乾燥と全周換気により通気性能を向上し、床下の環境を改善します。厚さが20mmのものが多く、防鼠材を貼り付けた後の有効換気面積は、外周基礎4m 当たり400cm²程度(※公庫基準基準300cm²以上の1.3倍)になります。
2. 換気口を設ける事による基礎部分の切り欠きがなくなるため、基礎耐力の向上に繋がります。クラック(ひび割れ)の予防にもプラスです。また、横筋等の補強筋を入れる必要がなくなり施工の合理化にもなります。
3. 構造的な役割として、建物を土台面からバランス良く支えます。構造部材であり、軸力をきちんと基礎へ伝える機能を果たすためには、『緊結される基礎と土台』の間に挿まれる基礎パッキンがズレたりする事なく、取り付けられた時の所定の位置に留まっている事が重要となります。

従来の樹脂パッキンの弱点を克服！

柱下のパッキンがズレたりして軸力が正しく伝達されないと、地震や大きな外力を受けた時には、構造体にダメージが掛かります。基礎パッキンはズレたり、滑ったりしないことが条件です。

ハンマーでたたけばすべりこんで元にもどせるよ……なんて簡単に考えていませんか？

“ズレない” “すべらない” パッキンが欲しい！

施工時の留意事項としては、いったんアンカーボルトで締め込みをすると基礎と土台の双方に密着して極めてズレにくくなるために、土台の通りを出す際には注意が必要です。



プラゴムパッキンの使用例



新築当初の住宅は、金物の補強もあり揺れにくいのは当たり前です。しかし徐々に、例えば電車や自動車・道路工事・予期しない突風や地震などの振動及び体感しにくい微細な振動を繰り返し受けることで、住宅の構造躯体の接合部分に緩みや歪みが発生します。

また、一般的に木材は乾燥による木痩せや、木のへたりを生じます。これにより本来の剛性や耐震性能は徐々に落ちていきます。

これからは、揺れを制御していかに長期に渡り住宅性能を維持させるかという工夫が新しい住宅のテーマです。